
私の道しるべ。

Natu

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の道しるべ。

【Nコード】

N3614J

【作者名】

N a t u

【あらすじ】

此れは文字通り私の道しるべに着いて書かせてもらおう。そもそも私の道しるべは両親や周りの人々もそうだが・・その中でも大変に申し訳ないが1人の俳優が主に私の道しるべになっていた。その男の名はブルース・リー

(前書き)

こんばんわ。N a t uでございます。

此れはですね……。短編として書かせて頂く予定です。読みにくい部分も只あると思われませんが……。文才ないながらも他の連載小説と同様に精一杯書かせていただきます。

この小説の主な内容は私の尊敬する俳優ブルース・リーについてそして私がどうやって彼と出会ったのかまたどうやって彼のファンになったのかについて書かせて頂く予定です。

のでどうぞ宜しくお願い致します。この小説も他の小説同様にお楽しみ頂ければ幸いに感じます。

其れではどうぞお進み下さいませ。

そもそも私が彼と出会ったのは、8歳の頃だった。

当時の私の時代にとってのアクション俳優は時代が若干かけ離れてしまうが……。ジャッキー・チェンだった。

だが、時がたつに連れてある日、彼との運命の出会い、が来た。

多分夏頃か秋頃かは忘れたが……。テレビで（録画だった気もするが）ある日、‘ドラゴンへの道’を見てそのアクションシーンがその当時の私にとってとても印象深いものだった。

マフィアのシーンそして……。コロッセオのシーンは敵をなぎ倒す彼の強さと魅力さに何時の間にか存分に浸ってしまっていた自分がいた。そして、その映画を見終わった後私の中では彼が一体、誰なのか、と言う疑問にさいなまれていた。だが、当時の日テレで放映されていた「知っているつもり?!」で何回目かは申し訳ないが忘れてしまったが、ブルース・リー特集をやっていて当時の私はもうテレビに釘居るように見ていたと思う。テレビを見るに連れてどの場面かはこちらも申し訳ないが記憶にないのだがこの番組を見て初めて彼が、‘ブルース・リー’、だという事が分かったのは事実である。

それ以来、私は彼の‘虜’になっていた。

だが、彼自身がもう既に、‘この世の人’では無くなっていたと言う事もこの番組で知った。

初めはショックの方が大きかったのかもしれないが、映画の中で会える、と言う事にも気づきその気持ちを内に秘めながらもそう前向きに考えると複雑に聞こえてしまうかもしれないが、‘嬉しさ’の方が大きかった。幸いにも私の両親は私のこの趣味を理解してくれそしてアレから私が中学生の頃だったと思うが彼のグッツ収集に没頭したのも此れは今でも覚えている。地元中華街など様々な所を行ったと思う。だが、残念ながら周りの同世代の友人に正直、どうし

てブルース・リーなの？’と疑問を突きつけられた事もあった。其れも当然の事だと思う。自分で言うのも何なんだが実際には私みたいな若い世代でしかも女でブルース・リーファンは滅多に居ないからだ。でも、会うと保々毎回では無いが私の趣味の話を聞いてくれた。其れがあつて彼のファンクラブに入会しそして高校時代の卒業旅行に両親と香港に行き、18歳の頃にシアトルにも行く事も出来そして色々な方とも知り合いになれたかと思う。そして、私はこれから1人のファンとしてあり続けたい。何故なら、彼は私が前向きに生きて行く為の‘道しるべ’なのだから。

此れは今後共変わらない。最後になるが、彼の言葉を引用させていただく此れは私の言葉の中で一番お気に入りの言葉だ。‘WALK ON (歩み続けよ)’

私の道しるべ。完。

（後書き）

最後までお読み下さり有難うございました。此れはオリジナルの初短編です。（事実上）如何でしたかでしょうか？上手く書けているかどうか不安な部分もありますが・・・（汗）今回は私個人のブルース・リーについての想い見たいなものを入れながら書かせていただきました。また、いつか分かりませんが短編を書かせて頂く予定です。その時はその時でどうぞ宜しくお願い致します。それでは最後まで御覧頂き本当に有難うございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3614j/>

私の道しるべ。

2010年12月30日05時48分発行